

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔泌尿器科〕

指標名

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における術後尿失禁回復率

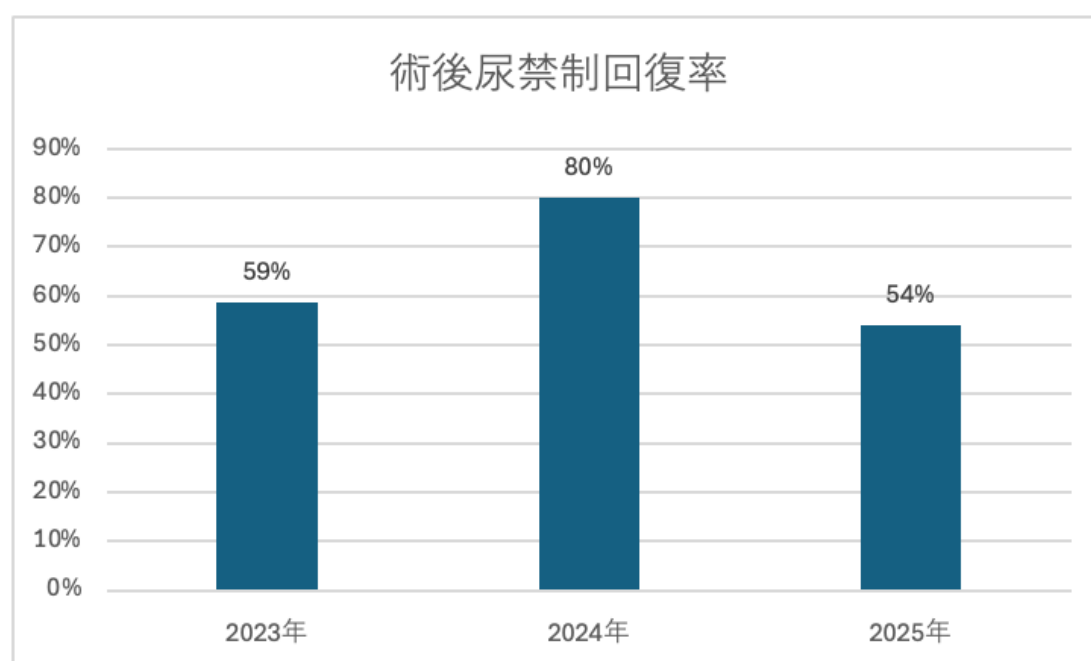
目標・ゴール

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における術後尿禁制回復率の向上（術後6ヶ月でパッド1枚以下となる患者割合が80%以上を目標）

目標・ゴール達成による効果

術後の尿禁制回復（尿失禁改善）が得られることで患者QOLを維持する。（尿禁制回復：術後6ヶ月で必要とするパッドが1枚以下となる）

目標・ゴールに対する成果の状況



ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダヴィンチ手術、RAPP）における術後尿失禁回復率を6ヶ月後のパッド1枚以下で評価した。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S : 大幅に目標を上回った
- ☐A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☒B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2025年の術後尿禁制回復率は54%となり、前年(80%)と比較して低下した。ただし、本年の集計には術後6ヶ月を経過していない症例も含まれており、これらの症例は経過観察を続けることで尿禁制が改善し、最終的な成績はより良好となる可能性がある。症例数も増加していることから、今後もさらに反復した手術手技の向上や工夫を重ね、尿禁制率のさらなる向上を目指していきたい。